

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	顎変形症における顎関節部 CT 所見に関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2012 年 1 1 月から 2022 年 10 月 31 日までに新潟大学医歯学総合病院歯科で、顎変形症の臨床診断のもと CT 検査を受けた患者さんが対象となります。	
③概要	顎変形症は上下のあごの骨の発育異常で、顔面形態の異常や咬合や構音など機能障害が生じた状態をいいます。著しい不調和がみられる場合は外科的矯正治療が適応となり、長期的治療が必要です。この疾患の発生には、遺伝的要因・環境的要因の関連が言われていますが、どちらがどれだけ影響しているかの判断は困難であり、多くが原因不明とされています。顎関節はあごの関節を指し、内部にあごを動かす際のクッションの働きをする関節円板があります。この関節円板の位置は顎骨の変形と関連があると言われています。私たちは今後の治療や予防に役立てるため、当院で顎変形症の臨床診断のもと CT 検査が行われた患者さんについて、詳細な画像的評価を行い、顎骨形態と顎関節部の関連性を明らかにすることにいたしました。
④申請番号	2022-0111
⑤研究の目的・意義	当院で施行された画像検査の詳細な評価を行い、その画像所見と治療経過から顎関節と顎骨形態との関連について解明いたします。これがわかることにより、治療の予後判定や骨の変形に関わる要因を早期に予測することが可能となります。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2025 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている患者さんの病歴、画像検査データを利用させていただきます。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	診療記録（病歴・年齢・性別・治療内容、治療経過） CT 検査データ
⑨利用する者の範囲	新潟大学医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野 林孝文、池真樹子
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	本学：新潟大学医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野 林孝文
⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野 氏名：林 孝文 Tel：025-227-2914 E-mail：hayashi@dent.niigata-u.ac.jp